



論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第686号	氏名	平瀬 達哉
学位審査委員	主 査 千住 秀明 副 査 尾崎 誠 副 査 本田 純久	  	

論文審査の結果の要旨

1 研究目的の評価

本研究は、地域在住高齢者の「寝たきり」の主要な原因である転倒に着目し、転倒リスクを予測し転倒高リスク者を早期に発見することと、身体機能レベルを推定することが可能となる、質問紙による簡便な転倒アセスメントツールの開発を検討したもので、目的は十分に妥当である。

2 研究手法に関する評価

地域在住高齢者を対象にした従来の転倒アセスメントツールを用いて、後方視的に多数の対象者からデータを収集し、重回帰分析などを用いて検討を行った。重回帰分析の結果から抽出された転倒に関する項目を用いて、新たに簡便な転倒アセスメントツールを開発した。さらに、その有用性を前方視的にROC曲線(receiver operating characteristic curve)で検討したもので、研究手法も妥当である。

3 解析・考察の評価

上記手法で解析した結果、身体機能と関係する7項目の間診によって地域在住高齢者の転倒予測が可能であることを明らかにした。また、過去1年間の転倒歴を有する対象者では、転倒歴と他の該当する項目の合計が4つ以上であることをスクリーニングのカットオフ値とした場合に感度と特異度が高く、簡便かつ高い精度で転倒高リスク者を発見できることを示した。本研究の結果は、今後の高齢者リハビリテーション科学に大いに貢献するものと期待される。

以上のように本論文はリハビリテーション科学分野の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。

(注) 報告番号は記入しないこと